



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和7年10月16日(木)

国道7号能代バイパス

木製防護柵塗装イベント開催 編

国道7号能代バイパスの能代港入口交差点～豊祥岱交差点区間に、木製防護柵が設置されています。木製防護柵は設置から13年が経過し塗装がはがれています。そのため、9年前から耐久性向上と景観美化を目的に、ボランティアの手で防護柵を塗り替える塗装イベントを始めました。

8度目の開催となる今回も一般ボランティアのほか、昨年に引き続き、能代市立南中学校1年生の生徒が参加してくださいました。

今年も現地塗装前の10月7日に、木材高度加工研究所の渡辺先生による事前授業を実施し、のしろ白神の道の活動内容や木製防護柵を塗装する目的、塗装の手順などについて学びました。

イベント当日は能代市南陽崎の黒松ハウス前に集合し、小雨模様だったことから、予定時間を早めてテントの中で開会式を行いました。開会式では、のしろ白神ネットワークの能登代表の挨拶の後、塗装の作業手順を再確認し、集合写真を撮影した後に各担当の防護柵塗装箇所へと移動して塗装を開始しました。

作業は防護柵についている汚れを布できれいに拭き取り、防腐や防カビ・害虫予防効果がある木材保護塗料を使い、担当の塗装範囲を丁寧に塗り進めます。昨年は塗装範囲が広すぎたため、時間内に塗り終わることができなかった箇所もあったことから、今年は時間内に塗装できるよう範囲を設定し、各々担当の防護柵を塗装しました。塗装は歩道側を生徒、道路側は大人のボランティアが担当しました。

前週からの週間天気予報では、イベントが開催できるか不安を感じながら当日を迎えましたが、塗装中は徐々に雨が止み、終わるころには雨もすっかりあがり、今年の塗装範囲を全て塗り終えることが出来ました。

塗装終了後は黒松ハウスに戻り閉会式を行い、能代河川国道事務所の館山調査課長からの閉会挨拶後、参加記念として国道7号のマークが入った秋田スギ製のコースターを1人1枚ずつもらい解散となりました。

イベントに参加していただいた南中学校の生徒の皆さん、ボランティアの皆さんお疲れ様でした！

文：成田 和幸



イベント前に事前授業実施



塗装前の集合写真



塗装作業の様子